

香川県庁をスタートし 一路西へ!! 協同病院参加者は大車輪!!

出発式で主催者を代表して、檜昭二県平和委員会筆頭代表が挨拶。今年はずっと違う緊迫した中での平和行進となったと切り出し、ロシアの侵略と核使用の高まりを指摘。国内ではこれに符節を合わせ岸田内閣の危険性と維新は憲法変えるため、非核三原則壊すと論議していると批判。この情勢を切り替えるため平和行進を成功させ、戦争する国作り阻止や九条いかして平和な東アジアなど4つの具体化を紹介。

小原由美広聴広報課長は浜田恵造県知事のメッセージを代読。浜田知事は、行進参加者への労いを述べた後、ロシアの軍事侵攻は違反であり容認できないとキッパリと批判。恒久平和が世界のルールと指摘。さらに平和行進の長年の実践に敬意を表し、核のない世界の実現を祈念。

山口逸郎さんは、8回目の全国行進を振り返り、2回目（80歳）の北海道コースで青森市長から三浦さんが80歳でエレベースト登頂し85歳までやると言っているから85歳まで行進を続けるようにと言われ、つい「ハイ」と言ったと吐露。今回は四国から、広島まで歩くと決意。県庁の皆さんは思わず拍手。

香川県の行進ルートの中でも20kmと長いコース、しかも今日は夏日予想の中の行進となりました。朝のペースダウンを活気づけたのが、JR鬼無駅での、前事務局長松永始さんの出迎えとJR国分駅での医療生協国分寺支部（3名）の「お接待」でした。冷たいお茶とキャンディを頂きました。また協同病院の3人の行進者のうち、午前が12kmを涼しい顔で傘をさして踏破したSさんと午後の8kmを志願して歩いたF君は、2人とも初参加でした。午前・午後通しの藤原勝之さんと岩部乃之原水協筆頭代表に脱帽。山口さんは「黄金の足」の実力発揮。



香川県庁の出発式で県職員と「一步」